

『プロッパ―細胞生物学』 1刷正誤表(2017.5.11)

	誤	正
18頁 図1-10	1) パルミチン酸の炭素鎖が1個分長い 2) オレイン酸の炭素鎖が1個分短い 3) トリアシルグリセロールとリン脂質のアシル基の炭素鎖が奇数(不適切)	1) 1個分短くする 2) 1個分長くする 3) 偶数にする
19頁 図1-11	フルクトース(ハース投影式)の2'位がH, 5'位がOH	2'位がOH, 5'位がH
23頁 図1-14	1) フェニルアラニンの1文字表記がY 2) トリプトファン側の側鎖がインドールの4位についている	1) F 2) 3位につける
32頁 図1-21	写真2点の位置が反対	左右入れ替える
74頁 図2-21	(c) 右側の写真が30nmクロマチン繊維ではない	正しい写真に差し替え
89頁 図3-2	上から4段目の酸素の腕が3本	2本
97頁 図3-6	2段目右端αヘリックス主鎖のα炭素の番号の付け方が反対	下から1, 2, 3, 4, 1, 2, 3, 4
129頁 図4-1	1) スフィンゴシン骨格の炭素鎖が2個分長い 2) アシル基(緑色)の炭素鎖が奇数(不適切)	1) 2個分短くする 2) 偶数にする
131頁 図4-3	1) ホスホジエステル結合の表記を簡略化しすぎ 2) イノシトールのOH基が一つ抜けている	1) より正確に描く 2) 入れる
282頁 6-8行目	慣例として、転写が開始されるヌクレオチドを「0」として数字をつけ、この地点から5'側に位置するDNAのヌクレオチドは上流(upstream)と呼ばれ、負の数字が割り当てられる	慣例として、転写が開始されるヌクレオチドを「+1」として数字をつけ、この地点から5'側に位置するDNAのヌクレオチドは上流(upstream)と呼ばれ、「-1」から順番に負の数字が割り当てられる
427頁 図11-20	CREB/CBP複合体の結合の仕方	CBPがPに結合する
509頁 図14-13	1) 2段目 セラミド 2) 3段目 スフィンゴシン 3) 2, 3段目 カルボニル基のCとOの配置が不適切 4) 1~4段目 スフィンガニン/スフィンゴシン骨格の炭素鎖が1個分長い 5) 4段目 アシル基の炭素鎖が1個分長い(不適切) 6) 5段目 アシル基の炭素鎖が2個分短い(不適切)	1) ジヒドロセラミド 2) セラミド 3) C=Oとする 4) 1個分短くする 5) 1個分短くする 6) 2個分長くする
513頁 図14-17	一番下の図 アクチンとミオシンの指している位置が反対	アクチンとミオシンの文字を入れ替える
514頁 図14-18	筋小胞体の「電位依存性Ca ²⁺ チャンネル」	リアノジン受容体

* 訂正後の図は化学同人HP (<http://www.kagakudojin.co.jp>) の本書ページに掲載されています。